



藤崎町母子寡婦福祉会（会長 舘山廣子）は、2月19日、常盤老人福祉センターにて「手芸教室」を開催しました。
 「先生がきちんと教えてくれるので楽しくできました。自分の作品が一番いいね(◡>◡<◡)」
 「なかなか集まる機会もないので、みんなの顔を見てお話しできて嬉しい。」といった声が聞かれました。
 寄せ植えしたお花を愛情たっぷり育ててあげてくださいね。

母子寡婦福祉会とは…

ひとりで子育てを行いながら生活を支えている。そんな方々の悩みを少しでも和らげ、互いに助け合い、励まし合いながらひとり親家庭・寡婦の福祉のために様々な活動をしている団体です。

藤崎町母子寡婦福祉会では、年間を通して手芸教室や料理教室、会員研修旅行などを開催しており、一緒に活動する仲間を随時募集しておりますのでお気軽にお問い合わせください。

◇申込・お問合せ◇藤崎町母子寡婦福祉会（社協内事務局）☎65-2056



トキワナズナ
花言葉『会える幸せ』

コロナ禍における認知症予防

65歳以上の4人に1人が認知症とその予備軍と言われており、その予備軍と言われる軽度認知障害の方々や健康な高齢者の方々も、新型コロナウイルスをきっかけに認知機能が悪化すると心配されています。「運動」「知的活動」「コミュニケーション」この3つを行うことで認知機能低下を防ぎましょう。



「運動」は、1日30分以上しよう！3密にならない環境であれば散歩もOK！
 運動によって神経栄養因子と呼ばれる神経細胞の働きを良くします。



「知的活動」は、頭を使って指先を動かすような活動です。塗り絵をしたり、簡単な計算、今だとマスクを作ったり、指先を使うことが脳の活性化にとってもいいです。



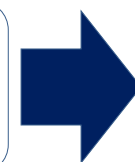
「コミュニケーション」は、お互いに連絡を取り合うことです。現在は、声だけではなく、顔を見ながら話せるテレビ通話という手段もあります。



近所のつながりが地域を救います

災害は、忘れたころにやってきます。東日本大震災から10年が経とうとしています。被災地で救出された方の多くは、家族や近隣住民によって救出されています。普段からの近隣同士で助け合える関係づくりが地域力のアップにつながります。

お住いの地域で
簡単なことから
始めよう



- ・地域みんなであいさつや声掛けをする
- ・地域の活動に誘い合って参加する
- ・支援が必要な人を普段から見守る



非常時の持ち出し品・備蓄品チェックリスト ～いざという時のために～



- 貴重品（現金、小銭を含む・通帳など） □ 懐中電灯 □ 携帯ラジオ
- 飲料水 □ 非常食 □ 予備電池・充電器 □ 持病薬・救急医療品・常備薬
- ヘルメット・防災ずきん □ 生活用品（衣類・寝具・軍手・ライターなど）
- 生理用品 □ 粉ミルク □ その他自分の生活に欠かせないもの

生活福祉資金

《教育支援資金》

高等学校・高等専門学校・大学（短期大学を含む）への進学または、在学中のお子さんがある家庭で、低所得世帯を対象に、資金の貸付を行っています。※大学院にかかる費用は対象外です。

【貸付条件】

- 低所得世帯
- 何らかの理由により、他の制度（奨学金制度等）の利用ができない方
- ※詳細は下記の通り



【修学費】

- 高等学校 月 35,000円以内
- 高専・短大 月 60,000円以内
- 大学 月 65,000円以内



【支度費】

入学金や制服など入学に必要な経費 500,000円以内

※低所得世帯の目安 ⇒ 同居家族全収入（月額）÷ 世帯人数 = 80,000円以下

※他制度とは ⇒ 町教育委員会奨学金、母子寡婦福祉資金、日本学生支援機構
 国民生活金融公庫、金融機関

《特例緊急小口資金》

新型コロナウイルス感染症の影響による失業等で、収入が減少し生活にお困りの方はご相談ください。

- 貸付上限額 20万円以内
- 据置期間 1年以内
- 償還期限 2年以内
- 無利子・保証人不要
- ☆申込期限：令和3年3月31日まで

※面接の日時、書類等の説明、貸付に関する内容の確認などありますので事前にご連絡をお願いします。

藤崎町社協 ☎65-2056

